

令和6年度事業実績報告書

○令和6年度事業

1 かごしま海外ビジネス支援事業

(1) 貿易相談事業

県内企業等の海外事業展開を支援するため、実務、金融、通関等の分野からなる貿易アドバイザー等による貿易相談を実施した。

海外ビジネス支援センター貿易相談件数：293件（令和7年3月末時点）

【貿易アドバイザー：4名】

分 野	会社名	職 名	氏 名
実 務	弓場貿易(株)	代表取締役	弓場 秋信
金 融	(株)鹿児島銀行	国際ビジネス支援部 国際ビジネス推進室 室長	森口 真也
通 関	(株)共進組	海外営業部 執行役員部長	梅木 洋一郎
	鹿児島海陸運送(株)	通関課 課長代理 通関士	前屋 隆一

(2) 海外商談会等開催事業

本県とアジアをはじめとする海外との貿易促進を図るため、国内外バイヤーとの商談会等を開催した。

① 南の宝箱鹿児島輸出商談会 2024 の開催

豊富で良質な本県産品について、海外における更なる認知度向上と販路開拓を図るため、国内外バイヤーとの商談会を開催した。あわせてバイヤーから希望のあった県内事業者（県産本格焼酎、伝統的工芸品等）の産地視察を実施した。

日 時：令和6年10月15日（火） 商談会

16日（水） 産地視察（南薩、北薩、霧島、大隅方面）

場 所：鹿児島サンロイヤルホテル 太陽・開聞・高隈の間

参加バイヤー：30以上の国地域に商流を有するバイヤー30社

参加企業：県内企業60社、物流相談3社、貿易関係団体1団体

成約及び継続交渉額：約2,691万円



(3) かごしまブランド海外展開推進事業

海外における県産品の販路拡大やかごしまブランドの構築のため、海外のスーパーマーケットにおいて「鹿児島フェア」等を開催した。

① 米国日系スーパーマーケットでの「鹿児島フェア」

国内大手小売 PPIH（株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス）が米国で展開する「TOKYO CENTRAL」等において、加工食品を販売する鹿児島フェアを開催した。

期 間：令和6年4月18日（木）～5月15日（水）

場 所：カリフォルニア（10店舗）

販売品目：加工食品（茶、かつお節、麺類、調味料、黒酢、キャンデー類、飲料、菓子、アイスクリーム等）

販売実績：20事業者、55商品



② 米国日系スーパーマーケットでの「鹿児島フェア」

米国の「ニジヤマーケット」において、鹿児島フェアを開催した。

県内事業者18社が渡米し、店頭販売を行ったほか、知事からは代表者へ感謝状の贈呈を実施し、継続的な取扱と取引拡大を要請した。

期 間：令和6年10月25日（金）～31日（木）

場 所：カリフォルニア州内 ニジヤマーケット 10店舗

販売品目：加工食品（水産加工品、茶、黒酢、味噌、醤油、鰹節、麺類、菓子等）

実 績：50事業者、150商品



③ シンガポールレストランでの「鹿児島フェア」

シンガポールの中心地に立地し、日本産酒類や日本料理を提供するレストランにおいて、「鹿児島フェア」を開催した。

期 間：令和7年1月10日（金）～19日（日）
場 所：Sake+（サケプラス）
内 容：県産本格焼酎を使用したカクテルや県産食材を使用したメニューの提供
提供品目：「南の宝箱鹿児島輸出商談会 2024」においてバイヤーが選定した県産本格焼酎、鹿児島和牛、カンパチ、水産加工品、お茶、調味料、スイーツ、ジュース



④ 台湾（台中）スーパーマーケットでの「鹿児島フェア」

台湾において、日本食品を多数取り扱うスーパーマーケットでの鹿児島フェアを開催した。[10回目]

期 間：令和7年2月14日（金）～16日（日）
場 所：裕毛屋（台中市内1店舗）
出展企業：県内企業17社
販売品目：菓子、調味料、黒酢、焼き芋、茶、飲料等（67商品）
※牛肉、きんかんは定番化商品として出品あり



⑤ 2024 かごしまの新特産品コンクール

「鹿児島県貿易協会会長賞」として以下の商品を選定した。

日 時：令和6年10月29日（火）
場 所：鹿児島サンロイヤルホテル
受賞商品：1 ARAWAZA Stannum（アrawa スタンム）
（本坊酒造株）
2 ポーレックス コーヒーミル・ミニ プロフェッショナル
（ジャパンポーレックス株）



(4) 管理運営事業

かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーと協会ホームページにより、貿易関係の情報発信強化を図った。

① かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーの運営

日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センターとの共同管理により、かごしま海外ビジネス支援センターライブラリーを運営し、一般の閲覧に供し、貿易関係の最新情報の提供を行った。

② ホームページによる情報発信

貿易協会のホームページにより最新の情報発信の強化を図った。



2 貿易振興事業

貿易関係の各種協議会等との情報交換や連携を通じ、協会活動の充実強化を図った。

令和6年	4月22日	薩摩国輸出促進協議会総会
	5月8日	鹿児島空港国際化促進協議会幹事会
	5月14日	鹿児島空港国際化促進協議会総会
	5月27日	鹿児島県開発促進協議会総会
	6月11日	公益社団法人鹿児島県特産品協会総会
	8月3日	川内宮之城道路決起大会
令和7年	10月11日	ひおき特産品コンクール（日置市）審査員
	1月23日	九州貿易協会連絡協議会
	2月6日	第4回川内港港湾脱炭素化推進協議会

(1) 第32回九州貿易協会連絡協議会の開催

九州各地域の貿易協会で構成される「九州貿易協会連絡協議会」の事務局として、「第32回貿易協会連絡協議会」を開催し、貿易協会の運営や貿易振興施策について意見交換を行ったほか、協議会翌日には県内企業の企業訪問を行った。

※ 参加：（一社）熊本県貿易協会、（公社）福岡貿易会、（公社）鹿児島県貿易協会、（公社）北九州貿易協会、（一社）長崎県貿易協会、（一社）大分県貿易協会、（一社）沖縄県貿易協会、三池貿易振興会

ア 協議会

日 時：令和7年1月23日（木）
午後2時半～午後5時半

場 所：マークメイザン

内 容：各地域の貿易協会から提案された議題について質疑

イ 企業訪問

日 時：令和7年1月24日（金）
午前8時半～午後2時

場 所：株式会社ヒガシマル串木野工場
濱田酒造株式会社傳藏院蔵

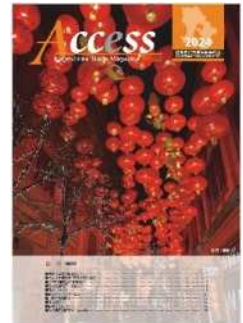


3 情報活動事業

情報誌やメーリングリストでの海外情報や商談会等の情報発信や、国内外バイヤーへの県内企業の商品情報発信により、企業の海外進出を支援した。

(1) 貿易情報誌発行

海外情報や海外駐在員レポート、海外展開関連補助・助成制度の情報等を掲載した会員向け情報誌「ACCESS」（年刊）を発行したほか、商談会やセミナー等の情報を掲載した「貿易ニュース」（月刊ウェブ配信）を発行し、貿易関連の情報発信を行った。



(2) メーリングリストによる情報発信

メーリングリスト登録者（約250個人・団体）に対し、セミナーや見本市等の情報発信を随時実施した。

(3) 公式インスタグラムによる情報発信

SNSを活用した情報発信として、新たにインスタグラムに公式アカウントを開設し、各種セミナーや事業活動等を随時情報発信した。



4 貿易研修事業

鹿児島県内貿易関係者の貿易実務能力の向上に資するため、日本貿易振興機構（ジェトロ）鹿児島貿易情報センター等と連携し、セミナーや貿易実務講座等を開催した。

(1) 越境ECセミナー・商談会

越境EC活用セミナー及び商談会を開催し、台湾、フィリピンへ「鹿児島県特設サイト」開設するとともに、シンガポール、マレーシア、ベトナムへ商品を出品した。

日 時：令和6年8月21日（水）10:00～15:00

場 所：マークメイザン

主 催：鹿児島県、公益社団法人鹿児島県貿易協会

参加者：11名

内 容：

- ① ECモールセミナー（株）wonect 水口耕太 代表取締役社長
- ② Shopee Japan による事業説明（ショッピージャパン株）村松俊和 日本越境EC代表
- ③ 商談会（Shopee 内にショップ展開しているセラーとの商談）

県産品取扱数：81 商品（新規）+23 商品（既存現地商社が扱う酒類）

取扱品目：菓子、調味料、麺類、化粧品、茶、農産加工品 等



参考：ショッピー台湾鹿児島ページ

(2) インドへの鹿児島県産品販路拡大・人材セミナー

県外国人政策推進課と連携し、インド人材の魅力やインドへの鹿児島県産品販路拡大に向けたセミナーを開催した。

日 時：令和6年10月9日（水）14:00～16:00

場 所：アートホテル鹿児島「大隅・薩摩」

主 催：鹿児島県外国人材政策推進課、鹿児島県貿易協会

内 容：①（講演）インドへの投資・輸出の現状及び人材の魅力について
②（講演）インド人材の教育・現状について
③（事例発表）インドへの輸出実績のある企業による事例紹介
④（事例発表）インド人技能実習生受入れ企業による事例紹介

講 師：① 駐日インド大使館経済商務担当公使 デブジャニチャクラバルティ 氏
② ARMS Incorporation(送り出し機関)
③ 株式会社オキス 園田 浩一郎 氏
④ 株式会社浜崎建設 濱崎 大輔 氏

参加者：38名（28社・団体）



(3) 貿易実務講座

貿易実務の基礎について講義を実施するとともに、志布志港の現場視察を交えながら同港を活用した輸出事例紹介を実施した。

日 時：令和7年3月18日（火）11:00～15:15

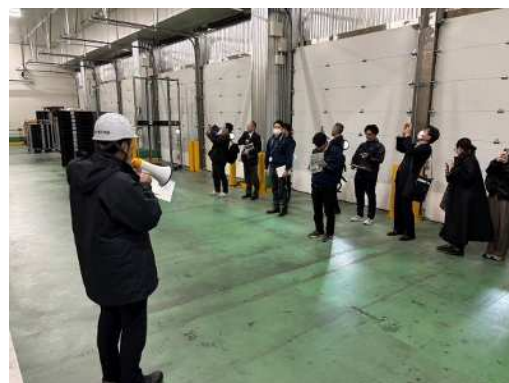
場 所：志布志文化会館

内 容：現地視察：志布志港、東洋埠頭株式会社志布志支店

講 座：①（概要紹介）志布志港活用促進の取組について
②（事例発表）志布志港活用事例紹介
③（輸送サービス紹介）小口混載輸出について
④（実務関係）貿易実務について～EPAの活用～

講 師：① 志布志市みなと振興課
② 株式会社オキス 園田 浩一郎 氏
③ イーキューワールドワイド株式会社 富高 四郎氏
④ 長崎税関鹿児島支署志布志出張所

参加者：26名（19社・団体）



5 貿易概況調査

鹿児島県の輸出及び輸入の動向について把握するため、県内企業を対象に実態調査を実施した。572社（飲食料品）に調査し、回答のあった215社のうち、「134社」が、貿易の実績があると回答し、令和5年度の加工食品の輸出額は「22億2百万円」であった。輸入額は前年度を上回り、年間貿易額（輸出額＋輸入額）は前年度比134.5%の「649億1百万円」となった。

(1) 年間貿易額の推移

（単位：百万円）

	金額		
	令和5年度	令和4年度	令和3年度
輸出	2,202	2,623	3,001
輸入	62,699	45,637	46,385
貿易額（輸出入計）	64,901	48,260	49,385

(2) 輸出額の状況

（単位：千円，％）

品目	令和5年度		主な仕向け地 （国・地域）
	金額	構成比	
飲食料品（酒類は除く）	1,469,745	66.7	アメリカ，台湾，香港
酒類	732,323	33.3	フランス，アメリカ，中国
計	2,202,068	100.0	－

(3) 加工食品の品目別状況

（単位：百万円，％）

区分	R5年度			R4年度			R3年度
	金額	増減額	前年度比	金額	増減額	前年度比	
飲食料品	1,470	▲148	90.9	1,618	▲780	67.5	2,398
農産加工品	185	19	111.4	166	41	132.8	125
畜産加工品	30	11	157.9	19	10	211.1	9
水産加工品	778	▲100	88.6	878	▲1,020	46.3	1,898
その他加工品・調味料	326	107	148.9	219	▲50	81.4	269
飲料	151	▲185	44.9	336	239	346.4	97
酒類	732	▲273	72.8	1,005	402	166.7	603
焼酎	281	▲29	90.6	310	41	115.2	269
その他酒類	451	▲244	64.9	695	361	208.1	334
加工食品等 計	2,202	▲421	83.9	2,623	▲378	87.4	3,001

※ラウンドの関係で合計が合わないことがある。

6 トップセールス事業等

県産品の海外における認知度向上や販路拡大を図るため、県内団体・関係機関と連携して行うセールス活動など、知事トップセールス等を行った。

(1) 香港における県産品プロモーション事業

① アイランド・シャングリ・ラ香港シェフの鹿児島招へい

期 間：令和6年9月25日（水）～9月27日（金）

視 察 先：南薩、北薩、霧島、大隅方面

概 容：ハイクラスホテルであるアイランド・シャングリ・ラ香港レストランでの鹿児島フェアの開催及び今後の定期的な食材の使用に向けて、ホテル総料理長及び日本食レストラン料理長、中華料理レストラン料理長など計4名を招へいし、産地視察を実施

招へい者：ホテル総料理長、中華料理長、なだ万料理長、なだ万経理

提案食材：さつまいも、小松菜、チンゲン菜、ブリ、カンパチ、鹿児島和牛、かごしま黒豚、黒さつま鶏、黒酢、調味料、焼酎



② アイランド・シャングリ・ラ香港「なだ万」での鹿児島フェア

期 間：令和6年11月1日（金）～30日（土）

場 所：アイランド・シャングリ・ラ香港「なだ万」

内 容：香港における県産品の認知度向上及び販路拡大を図るため、同ホテル内のレストラン「なだ万」で鹿児島フェアを開催

提供品目：11月の季節メニュー全てを鹿児島県の食材を使用した内容で提供（さつまいも、小松菜、ブリ、月日貝、鰻、鹿児島和牛、黒さつま鶏、黒酢、焼酎等）



③ アイランド・シャングリ・ラ香港「なだ万」でのトップセールス

日 時：令和6年11月7日（木）17:30～19:30

場 所：アイランド・シャングリ・ラ香港「なだ万」

概 要：アイランド・シャングリ・ラ香港関係者に対し、「なだ万」や同ホテル内のレストランでの県産品の新規取扱や取扱の拡充を依頼



④ 知事主催レセプション

日 時：令和6年11月8日（金）18:00～20:00

場 所：ニューワールドミレニアム香港2階グランドボールルーム

概 要：「第24回鹿児島・香港交流会議」にあわせて、知事主催レセプションを開催し、香港交流会議出席者や香港日本国総領事、飲食、流通、観光、航空関係者等の招待者に対し、鹿児島の誇る本県食材の提供、本県観光のPRを実施

提供品目：鹿児島和牛、ブリ、野菜、お茶、黒酢、菓子類、焼酎など



7 加工食品クラスター輸出緊急対策事業【令和5年度農林水産省補正予算】

米国カリフォルニア州において、県産加工食品の販路開拓・拡大を図るため、発酵食品（味噌・醤油、黒酢、鰹節、焼酎）を組み合わせ、日本独自の発酵文化、麴の魅力、伝統的酒造り文化などストーリー性を合わせて訴求する県産品PRレセプションを開催した。

(1) ジャパン・ハウス・ロサンゼルスでのレセプション

総領館及び県人会の協力のもと、現地レストランのシェフやバイヤー等向けに県産品を使用した料理の提供や県内企業ブースを設置し、県産品及び観光PRを行ったほか、商談会を実施した。

日 時：令和6年10月25日(金)
場 所：ジャパン・ハウス・ロサンゼルス（カリフォルニア州）
参 加 者：79名（レストランオーナー，食品バイヤー，工芸バイヤー，県人会関係者等）
提供品目：鰻，味噌，醤油，ハマチ，麴，黒酢，素麺，出汁，鰹節，和牛，麴
レセプション内容：
① 県産品・観光PR
② 発酵の歴史と鹿児島焼酎・食文化のセミナー
講師：(株)源麴研究所 代表取締役社長 山元 文晴 氏
③ 牛肉カットマンによる和牛カッティングと麴と肉加工セミナー
講師：(株)ナンチク
④ 発酵食品・麴使用メニューと焼酎 食と酒のマリアージュ試食・試飲会
⑤ フリー商談会（参加事業者：18事業者）
⑥ 伝統的工芸品の試着・展示

